■磁気共鳴画像診断装置(MRI)

Canon社製　Vantage Fortian　1.5テスラ　DLR-MRI



■装置の更新情報

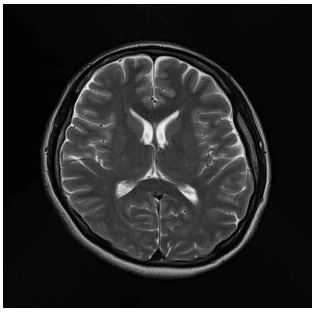
令和8年5月、1.5T(テスラ)MRI装置を新しく入れ替えました。
今回入れ替えたMRI装置は、旧装置と比較して大きく3つの特長があります。

1つ目は、検査時間の短縮と質の高い画像を提供できる点です。本装置から人工知能(AI)の技術の一つであるディープラーニング再構成(DLR)技術を搭載した装置となりました。これにより、高いノイズ低減効果が得られ、検査部位によって撮影時間の短縮と画質の向上が可能となりました。

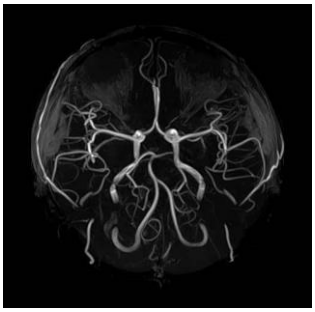
2つ目は、ワイドボアである点です。開口径が71cmとなり、従来の装置と比べて10cmも大きくなりました。それにより、体格の大きい方、腰の曲がった方にも検査を受けて頂くことが出来ます。また、開放的で明るい空間のため狭いところが苦手な患者様の不安を和らげ、より快適な検査環境を提供します。

3つ目は、豊富なアプリケーションを搭載している点です。造影剤を使用しない(非造影)MRA検査(脳の血管走行や動態を調べる検査)をはじめとしたアプリケーションを多数搭載しており、幅広い検査に対応できる装置となっています。

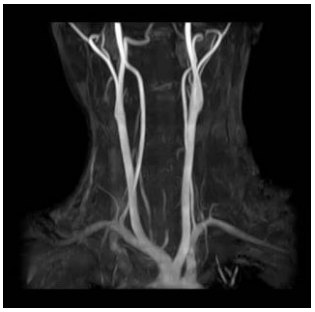
■臨床画像



頭部MRI



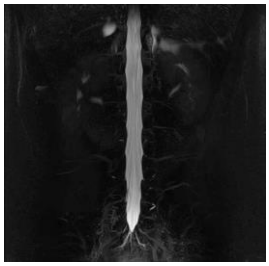
頭部MRA



頚部MRA



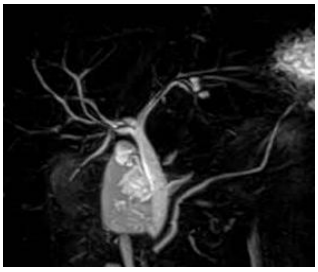
腰椎　神経根



ミエログラフィー



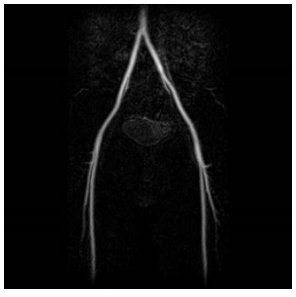
腰椎　矢状断面



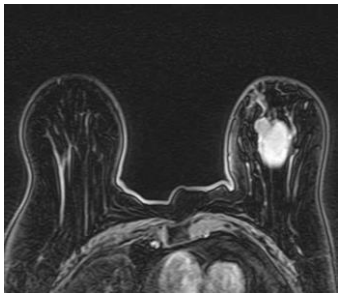
腹部　MRCP



腎動脈　MRA



下肢動脈MRA



乳腺造影MRI